

平成19年3月27日

第22回「県民文化奨励賞」の贈呈について

財団法人「けんしん育英文化振興財団」では、次により「県民文化奨励賞」の贈呈式を開催し、受賞者の皆様の今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

記

1. 第22回「県民文化奨励賞」贈呈式

日 時 平成19年3月26日（月）

場 所 広島県信用組合本店

2. 受賞者（順不同）

洋画家 橋本 一貫 氏（東広島市八本松町在住）

工芸家 小林 利幸 氏（廿日市市宮島町在住）

3. 受賞者のご紹介

洋画家 橋本 一貫 氏（東広島市八本松町在住）

橋本先生は、具象絵画を専門とする光風会に所属する洋画家で、光風会展や日展で入賞および入選を重ね、特に日展では平成5年以来10回の入選を果たしておられます。

また、広島市内の中学校、高等学校の美術科教諭を歴任し、美術分野に携わる数多くの人材を育成するとともに、県内の美術振興にも力を注ぐなど、今後とも県内の美術文化の振興発展にご活躍が期待されています。

工芸家 小林 利幸 氏（廿日市市宮島町在住）

小林先生は、宮島特産品振興大会や県美展に出品し、入賞や入選を重ね、さらに、平成12年から4年連続で日本伝統工芸展に入選を果たすという快挙を成し遂げ、平成15年に日本工芸会の正会員に推挙されました。

地元宮島小学校をはじめ、大竹市、広島市の小学校で、木工ロクロ技術普及の体験学習を進められるなど、宮島の伝統工芸の保存と発展に尽力され、宮島ロクロ細工の後継者として、日々研鑽を積んでおられます。